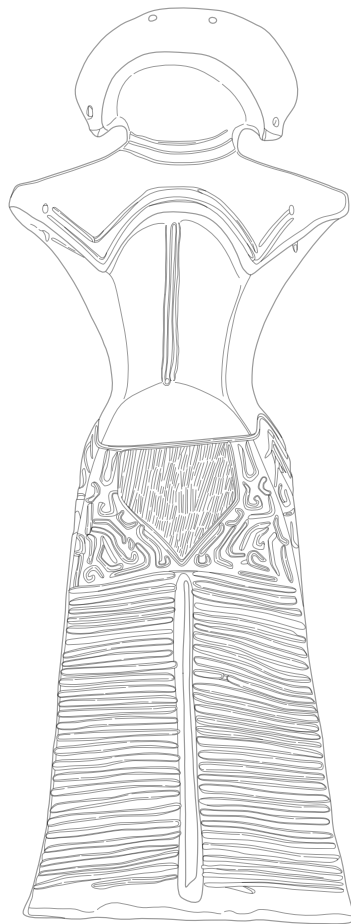


年 報

令和2年度

令和3年5月

公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター



序

山形県埋蔵文化財センターは、平成5年に財団法人として創設以来、また平成24年からは公益財団法人として、関係諸機関の御支援・御協力をいただきながら取り組みを進めてまいりました。本年度における当センターの事業につきましては、計画した事業のすべてについて円滑に実施することができました。その概要について申し上げますと、はじめに、調査事業においては、2遺跡2件の発掘調査と延べ5遺跡の報告書作成のための整理作業を実施し、2冊の発掘調査報告書を刊行いたしました。本県における近年の発掘調査の傾向は、県公共事業の減少が引き続き見られ、国による新直轄事業の高速交通網整備に伴う事業もピークを過ぎたことから、現在進められつつある高速道路の県境部分の整備やこれからの県の公共事業等の事業量を的確に把握しつつ、調査体制の整備に努めていかなければなりません。今後とも、責任ある発掘調査を基本とした調査研究に取り組んでまいります。

次に、普及啓発事業につきましては、従来実施してまいりました『考古学&遺跡発掘調査のお仕事参観日』をはじめ施設見学や資料の貸出など多くの活動は、新型コロナウイルス感染防止のため残念ながら中止あるいは制限せざるを得ませんでした。その中でも、ホームページによる情報発信や発掘調査遺跡において、蜜を避けて調査成果の一般公開を行いました。また、ホームページ上での公開ではありましたが、広報誌『埋文やまがた』の発行などを通して、埋蔵文化財の調査研究の成果を県民の皆様にお知らせしてまいりました。今後とも埋蔵文化財保護の重要性の周知や、埋蔵文化財を通して古代の人との心の交流の場を県民の皆さんに提供するという基本姿勢を以て、今できることを工夫して普及啓発事業を推進してまいります。

山形県埋蔵文化財センターでは、これからも「公益」という言葉の重みを職員一人ひとりが胸に刻み、次世代を担う子供達に地域の伝統文化の大切さを伝えるため、あるいは誇りと自信の持てる地域づくりの一助とするため、さまざまな機会を活用して、県民共有の文化遺産としての価値ある埋蔵文化財を後世に伝えて行けるよう、職員一同、一層研鑽を重ねていく所存であります。

令和3年3月31日

公益財団法人山形県埋蔵文化財センター
理事長 武田啓子

目次

I. 管理運営概要

1. 沿革	1
2. 組織	
(1) 役員及び評議員	1
(2) 職制及び人員	2
(3) 組織	2
(4) 職員	3
3. 施設	4

II. 業務概要

1. 調査業務	5
(1) 調査遺跡一覧	6
(2) 調査遺跡の概要	
杉沢 C 遺跡	8
水林下遺跡	12
上曽根遺跡	16
八幡西遺跡	16
川前 2 遺跡	17
野田遺跡・下中瀬遺跡	17
2. 普及・啓発・研究等業務	
(1) 研修等	18
(2) 普及啓発	
①センター公開事業	18
②考古学講座	18
③来所者	19
④調査成果一般公開	20
⑤職員派遣等	21
⑥資料貸出	22
⑦資料掲載許可	22
⑧研究紀要	23
⑨出版物	23
⑩ホームページ	23
(3) 情報処理	
収蔵図書データベース	23